

子どもの居場所づくり について

令和5年10月26日

令和5年度 荒尾市総合教育会議

議事について

- 国は「こども家庭庁」を設立し、こどもの育ちの保障や居場所づくりなどを進め、すべてのこどもが健やかに成長できる社会の実現を目指している。
- 本市では第6次荒尾市総合計画に基づき「切れ目のない充実した子育て環境づくり」を進めており、子育て環境の整備と魅力向上を図っている。また、少子化対策を強化するため、今年度中の計画改訂を進めている。
- 今年4月には新たに放課後児童クラブ（学童保育）を荒尾第一小学校に開設し、また、令和4年度には不登校の子供たちへの支援のため、市内全中学校に適応指導教室を設置。
- 各世帯の状況やニーズが多様化する中、学校や家庭、地域などの子どもたちの居場所のあり方についても、現状を踏まえながら、各委員と市長の意見交換を行いたい。

現在の状況

○こども家庭庁の発足

子育てや少子化、児童虐待、いじめなど子どもを取り巻く社会問題に対し、本質的な対策を進めるため、令和5年4月に内閣府に「こども家庭庁」が発足。

○「こども大綱」の策定

政府は子ども政策に関する基本的な方針を定め、従来の「少子化社会対策大綱」や「子どもの貧困対策に関する大綱」などを一元化した「こども大綱」の策定を進めており、こども家庭審議会がまとめた中間整理においては、重要事項として、貧困、障害児支援、虐待防止、自殺対策のほか、学童期・思春期の居場所づくりなどが盛り込まれている。

○荒尾市における状況

令和4年の出生数が280人と過去最少となり、国と同様に本市にとっても少子化が将来に係る最重要課題となっている。現在、第6次総合計画の年度内の改訂を進めており、子育て支援の充実のほか、結婚・出産に対する支援や働き方改革の更なる推進、各種ライフステージに応じた切れ目のない支援や、若年世代の転出抑制や転入促進など、少子化対策の強化を図ることとしている。

児童の放課後の居場所について

児童の放課後の居場所

放課後子ども教室

- 対象：小学1年生～3年生
 - 費用：2,000円／年
 - 時間：週2回(授業終了後から午後5時まで、長期休業中を除く)
 - 場所：学校内教室など(市内3校で実施)
 - 有償ボランティアを配置
- ※R5年度中に新規に1校開設予定



放課後児童クラブ

- 対象：共働き等で保護者が不在の児童
 - 費用：7,500～8,500円／月(利用月等により異なる)
 - 時間：授業終了後から午後7時まで(土曜日は午前7時半～午後5時)
 - 場所：学校敷地内や保育施設(市内全10カ所)
- ※4月に1カ所新設(一小)
- 放課後児童支援員及び支援補助員を配置



その他

- 自宅、友人の家
- クラブ活動
- 学習塾、習い事
- 放課後デイサービス
- 放課後スポーツ教室
- 児童センター など



児童の放課後の居場所について

放課後子ども教室

概要

放課後に小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、学習活動やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流による地域コミュニティの充実に資する事業。（参考：文部科学省ホームページ）

放課後子ども教室利用者数（令和5年6月現在）

	1年生	2年生	3年生	合計	備考
八幡小	7	9	4	20	水・木曜の14時半から17時
有明小	6	7	5	18	火・水曜の15時から17時
桜山小	4	6	3	13	火・木曜の15時から17時
合計	17	22	12	51	

■ 生涯学習課調べ

放課後児童クラブ

概要

児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るもの。（参考：子ども家庭庁ホームページ）

放課後児童クラブ利用者数（令和5年5月現在）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
通常	174	127	86	27	9	1	424
長期のみ	21	27	28	20	14	3	113
合計	195	154	114	47	23	4	537
申込数	222	178	150	59	29	6	644

■ 子育て支援課調べ

市民等から出た意見

- 費用面や送迎の関係で子どもをクラブチームに入れられない。
- 遊具がたくさんある公園が欲しい。
- 学習塾がない。
- 親並みの育児のサポートが受けられると良い。
- 下校後から親が帰宅するまでの居場所がほしい。
- 学童料金が高い。
- 周圀（地域）の人と一緒に子育てをやっていければ良い。
- 幼い頃に参加した地域行事やイベントなどは思い出に残っており、地元へ愛着を感じている。
- 仕事の都合で急な迎えができないため、災害時には学校で預かっていただけありがたい。

■ 総合政策課調べ

- 少子化対策部会（総合計画政策部会）により市役所職員や市内小中学校のPTA、市内企業の従業員、子育て支援拠点事業の利用者等へ聞き取りを実施。

不登校児童生徒支援制度について

小岱教室

(荒尾市教育委員会教育支援センター)

- 学習指導と生活等の相談に対応
- 午前9時～午後3時まで
- 指導員3名を配置(常時2名在室)
- 給食の配送も実施

心の教室相談員

- 生徒、保護者、教職員の相談に対応
(校内の別教室で対応)
- 週3日、各5時間
- 相談員を各中学校に1名ずつ配置

スクールソーシャルワーカー

- 児童、生徒及び保護者の相談対応や各関係機関との連携を支援
- 市教育委員会に1名配置
- 約700件/年の相談活動を実施

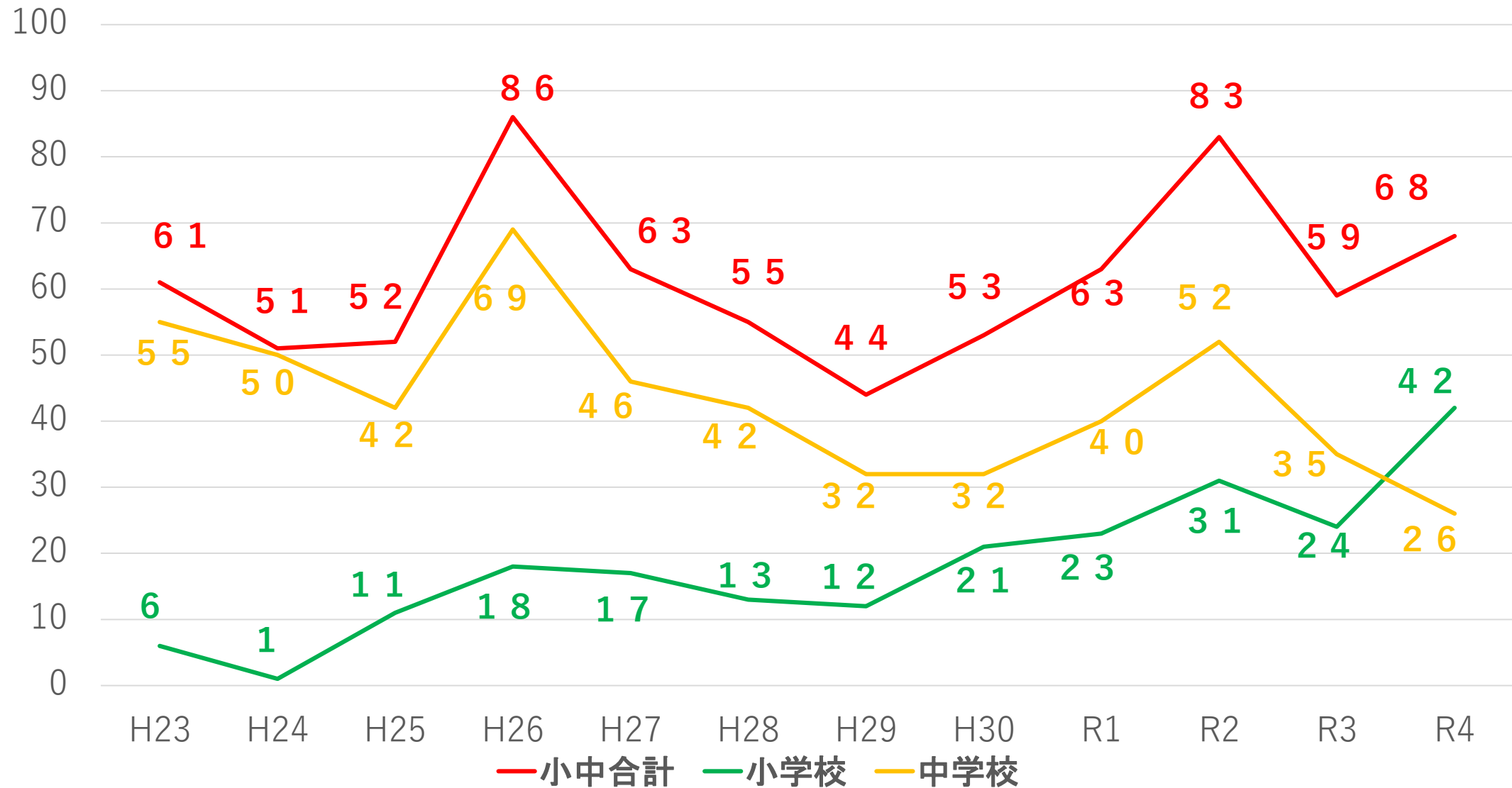
ハートフルルーム

(校内フリースクール)

- 「登校はできるが教室に入れない」児童、生徒の居場所
- ※校内の空き教室を活用
- 始業～終業時間まで
- 教員免許を有する指導員を2名配置
- 開設状況
 - ・ R2年度 第三中学校
 - ・ R4年度 海陽中学校、第四中学校



本市小中学校の不登校者数



参考データ

令和5年度小中学校児童生徒数（令和5年5月現在）

No.	学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	学校計
1	荒尾第一小学校	69	81	86	62	78	73	449
2	万田小学校	71	81	68	42	68	70	400
3	平井小学校	18	18	28	26	30	30	150
4	府本小学校	9	10	11	8	14	14	66
5	八幡小学校	30	38	31	40	45	41	225
6	有明小学校	32	33	34	30	29	33	191
7	緑ヶ丘小学校	50	49	56	60	77	70	362
8	中央小学校	83	86	87	83	96	101	536
9	清里小学校	17	6	15	19	12	14	83
10	桜山小学校	21	23	18	21	22	20	125
	合計	400	425	434	391	471	466	2587
No.	学校名	1年生	2年生	3年生				学校計
1	荒尾海陽中学校	166	175	153				494
2	荒尾第三中学校	174	185	165				524
3	荒尾第四中学校	68	66	82				216
	合計	408	426	400				1234